

図書室だより

令和7年12月2日 印西市立木刈中学校図書室

12月 (師走)

昔、「師」は僧侶や、神職を表していたと考えられています。年末のお経をあげるために、お坊さんが忙しく走り回る月だから「師走」という説があります。



12月、街はイルミネーションで輝き、クリスマスや冬休みの楽しみが近づいてきました。図書室にも、冬に読みたい本や来年に向けて元気をくれる本が揃っています。ぜひ立ち寄って、あなたのお気に入りを見つけてください。

12月の図書室利用

今月は、18日(木)まで開室しています。新しい本も入荷します。短い期間となりますので、早めに本を借りに来てください。

休館日：12月19日(金)～1月7日(水)

冬休みの長期貸し出しが始まります！

寒い日は、温かい飲み物と一緒に長編小説や伝記を読んでみませんか。

貸出期間：12月2日(火)～12月18日(木)

返却期間：1月7日(水)～1月13日(火)

貸出冊数：3冊まで

☆図書室が閉室している時は、廊下の返却BOXに返却してください。



1月の予定

新年は、図書委員会によるイベントを予定しています。楽しみにお待ちください♪

お知らせ

しおりのイラストをありがとう！

素敵で、楽しいイラストが集まっています。描いてくれた人ありがとう。しおりは常時募集しています。描きたくなったらいつでも、大歓迎です！

今月のおすすめ本

「サンタのおばさん」(文藝春秋：発行) 東野 圭吾：著 杉田比呂美：画



ミステリー作家、東野圭吾さんの作品です。12月に、フィンランドで開かれる世界サンタクロース会議。アメリカのサンタが後任に、女性のサンタを連れてきました。さて、各国のサンタに認めてもらえるでしょうか。現代社会に対する風刺が効いていながら、ほのぼのとした夢を見せてくれる本です。

「アクティブ！家庭科 全4巻」(偕成社：発行) 谷 昌之：監修



年末は学校で教わったことを実践するチャンスです。積極的にお手伝いをしましょう。

まずは、自分の身の回りから。温かく過ごす工夫や、整頓、大掃除のし方がわかります。ページを開いてみてください。



今月の特集コーナー

★人権特集

国際連合は、世界人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と決めました。日本では12月4日～10日を人権週間と定めて人権を尊重する活動をしています。

私たち1人ひとりが、安心して生きていくために欠かせない「人権」。この特集では、いじめや差別、ジェンダー、国際的な人権問題など、さまざまな角度から人権について学べる本を集めました。本を通して、誰かの気持ちに寄り添ったり、自分の考えを深めたりするきっかけになれば嬉しいです。



「みえるとか みえないとか」

ヨシタケ シンスケ：作 伊藤 亜紗：そうだん (アリス館：発行)

「ふつう」であることや「多様性」について考える深い絵本です。主人公のぼくは、宇宙飛行士。後ろまで見える宇宙人もいれば、見えない宇宙人もいて、世界の感じ方が全く違ってきます。でも、「同じところも必ずあるよ」と、かわい例をあげて教えてくれます♪ページを開いて楽しんでください。



「きみの人生はきみのもの
子どもが知っておきたい『権利』の話」

谷口 真由美 荻上 チキ：著 (NHK出版：発行)

この本では24個の困った状況や悩みを取り上げて、子どもが持つ権利を示しています。どんな行動をとるのがいいのか、どこに助けを求めればいいのかも具体的に紹介されています。



< 司書の一人旅 >

先月、2022年に開館した石川県立図書館を見に、金沢へ行ってきました。



円形に配置された本棚や、丸い大きな吹き抜けなど、建築もすばらしく、興味をそそる本の配置にも感心しました。100種類ものソファや椅子があり、お気に入りの場所を見つけてください、と言われているようでした。枕草子の一節や散文がさりげなく貼られていたりもして、大感激してきました。皆さんも機会があったら、ぜひ足を運んでみてください。



「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」
ブレイディ みかこ：著 (新潮社：発行)

イギリスで暮らすアイルランド人の夫と中学生の息子との日常を通して、多様性や社会問題を描いたエッセイです。イギリスでは様々な国の人が暮らしていて、大事にしていることも、価値観も違っています。人権とは何かを考えさせられる作品です。まだ読んでいない人は、ぜひ手に取ってみてください。